

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 29日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
ポラテック西日本株式会社
代表取締役 中内晃次郎

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	ポラテック西日本株式会社 代表取締役 中内晃次郎
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17

1 事業所の概要

事業所の名称	ポラテック西日本株式会社 滋賀工場(ロハスフィールド)					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	2	2	4	建築用木製組立材料製造業
事業の概要	建築資材の購入、加工及び販売業					
従業員の数	150	人	作業時間	18	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	7 台	空気調和設備	台	その他	・生産設備22台 ・集塵設備19台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2021	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了 年度	2023	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

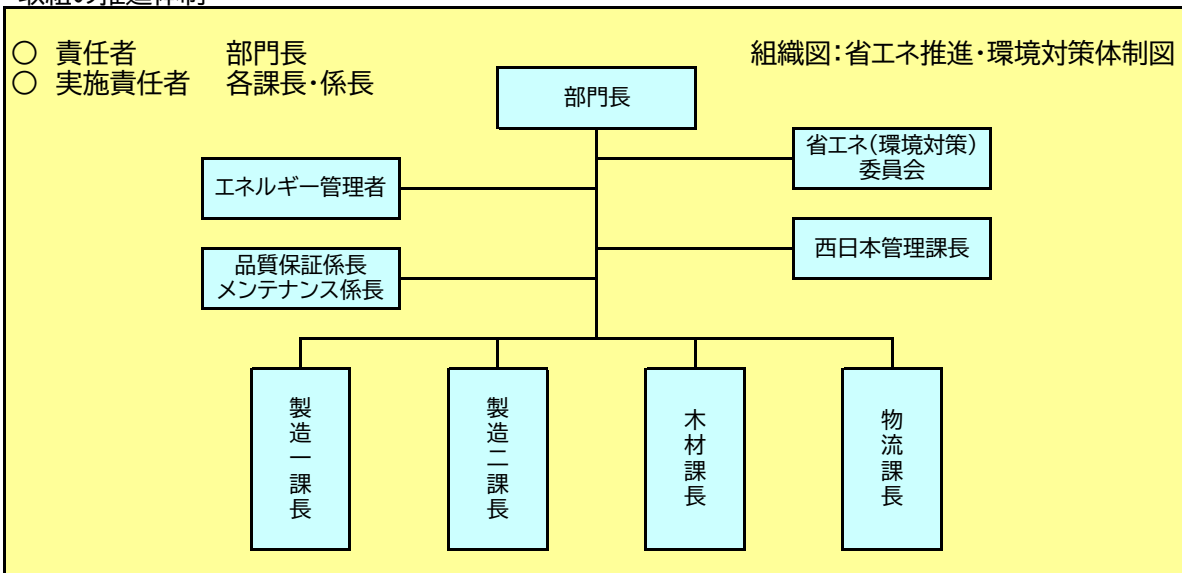
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち＜ポラテック西日本(株)滋賀工場＞は、より長く大切に使う住まいづくりのために、木造建築物を供給する企業として環境への取り組みを行います。

- 1.法令、契約内容、社内ルールを十分に理解し、遵守します。
- 2.サステナブル(持続可能)な森林経営を行っている林区の木材のみ輸入し加工を行います。
- 3.非住宅分野において、積極的に木造建築をご提案し、木造化の流れを推進します。以上は、CO₂の削減等、地球環境を守る事に繋がります。
- 4.工場におけるエネルギー使用状況を管理し、削減します。
- 5.工場における歩留り向上や端材の再利用、再資源化を推進し、廃棄物の排出量を削減します。

※従業員は上記項目を念頭におき、継続的改善に取り組むものとします。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・工場屋根に太陽光発電装置を設置。
- ・工場内・事務所・駐車場の水銀灯、ナトリウム灯、蛍光灯をLED照明に切替。
- ・歩留り向上ソフトを導入し、木材の歩留り向上。
- ・木材端材、不良材発生後の再利用方法を検討し、廃材の低減。
- ・プレカット加工機用真空ポンプをインバーター化。
- ・プレカット加工機用廃材コンベアー部を間欠運転に切替。
- ・プレカット加工機用集塵(定量機)を間欠運転(タイマー)に切替。⇒レベル制御(センサー)に切替。
- ・プレカット加工機用コンプレッサーをインバータ化。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明設備のLED化を図る。(工場内部8箇所)	2021年～2022年	済
2	設備導入	照明設備のLED化を図る。(工場外部26箇所)	2021年～2022年	済
3	プロセス改善	コンプレッサの2次側供給制御を図る。(7ライン)	2021年～2023年	一部済
4	設備導入	コンプレッサをインバーター式に入替える。(4ライン)	2021年～2022年	済
5	運用改善	集塵機(定量機)の間欠運転をセンサー化を図る。(2台)	2021年～2023年	済

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		—	—	—
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
4(1)の項目の取組みにより、エネルギー使用量の原単位で1%削減する 原単位:エネルギー使用量(原油換算kl)/生産数量(坪数) ⇒ 1%削減		旧基準で1%削減は未達成。 2021年度はウッドショックにより木材不足で減産となり効率の悪化。2022年度は設備更新を計画したが、半導体や電子機器の納品遅延により計画が大きく遅れてしまい改善が進まなかった。2023年度は計画が遅れた分については設備的対策を進める事ができましたが、物価等の上昇により市況が悪化し大幅減産となり効率を落とした。後半は特に管理標準の見直しを行い良化する事が出来た。<2023年()内の数字は旧基準>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kl	1,660	1,599	1,657	1298(1485)		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	2,343	2,378	2,066	2,182		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	2,343	2,378	2,066	2,182		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.281	0.285	0.290	0.269(0.308)		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	—	—	
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	—
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	—					
上記のうち自家消費量	kWh	—					